

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

電子カルテを導入しました

当院では、12月から電子カルテシステムの運用を開始しました。

電子カルテとは、従来紙であったカルテを電子化したものです。電子カルテを導入することで、院内情報の共有・伝達・保管がスムーズになり、業務効率の向上および診療の質の向上につながると考えています。

電子カルテの導入にあたっては、以下のような影響があります。

○全科予約診療の開始

一部で行っていた予約診療が、全科で予約診療となります。

予約方法は、窓口掲示板、ウェブサイトなどでお知らせしていますが、不明な点はお気軽にお問い合わせください。

○待ち時間の短縮

電子カルテの導入により、紙カルテが不要になることで、受付・会計時の入力時間が減り、患者さんの待ち時間を減らすことができます。

導入に伴い、スタッフ一同スムーズな運用のため研修などを行ってきましたが、導入当初はケースによって、診察や会計などで待ち時間が長くなるなど、ご迷惑をお掛けする可能性があります。今後とも円滑な運営に最大限努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

☎公立小野町地方総合病院

☎72-3181

地域包括支援センターからのお知らせ

生活支援体制整備事業 ～支え合いの地域づくり～

高齢化が進むなか、元気な高齢者はもちろん、支援や介護が必要になっても自分らしく暮らし続けられる地域を目指して始まったのが「生活支援体制整備事業」です。公的サービスや制度だけでなく、多様な特色を生かした住民同士の支え合いの取り組みを充実させていき、誰もが暮らしやすい地域づくりを、住民・協議体・生活支援コーディネーターが協働して進めていきます。

協議体では、

- 地域の困りごと
- 生活支援のしくみ
- 見守り活動
- 移動支援のしくみ
- 通いの場づくり

などさまざまなことを、地域にお住まいの方だけでなく、施設やお店などいろいろな関係

団体に参加をいただいて、地域全体の話し合いができるようにします。

<生活支援コーディネーターの役割>

- 町内会活動や老人会、サロンなど皆さんが集まる場所へ訪問させていただき、困りごとの聞き取り
- 地域の良いところを再発見
- 地域の足りていないサービスのしくみづくり
- 話し合いの場の準備
- 地域の施設やお店などに協力を依頼

皆さんの声や想いを、聞かせてください！
また地域包括支援センターからもご連絡します。

☎小野町地域包括支援センター

☎72-2128